

岐阜県医師会 新型コロナウイルス感染症通信【10号】

5月14日には、岐阜県を含めた39県の緊急事態宣言が解除されました。21日には大阪府、京都府、兵庫県も解除されます。県内の累計患者数は、5月20日現在150名で、そのうち入院中は6名です。5月の県内新規感染者は5月2日の1名のみです。

学校の休業に関しても徐々に緩和されており、登校日等で通学することなどが始まりました。さらに6月1日からは正式に登校が始まります。学校医の先生におかれましては、5月8日に日医から発表されている「新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校運営上の工夫について（通知）」などを参考に、適切なお指導をお願いいたします。また、児童生徒はマスクをして授業をうけることとなりますので、早めからの熱中症対策も必要かと思われます。

日常生活が戻りつつありますが、今後危惧される第2波、第3波の発生時に速やかに対応できるよう、今のうちに対策を進めておくことが必要ですし、実際進められています。

後方支援施設は、羽島市のホテルKOYOが稼働しています。先日西濃地区の後方施設として大垣市のホテルが決定し、住民説明会が行われました。さらに中濃、東濃、飛騨地区においても後方支援施設の設置に向けた準備が進んでいます。

【地域外来・検査センターについて】

PCR検査の更なる拡充を目的に、地域の医師会等が運営する「地域外来・検査センター」の設立が始まっています。東濃地区ではすでに開設され、岐阜市、岐阜地区、西濃地区、中濃地区、でも1か所ずつの設置が決定し、順次稼働を開始していく予定です。さらに地区によっては、2か所目の設置も検討中と伺っています。また飛騨地区でも準備を始めていくと伺っております。

後方支援施設の運営に、検査センター運営を行うには、地域医師会の先生方の協力が不可欠です。ご協力をお願いいたします。

【医療資材について】

国から県医師会にマスク（中国製）の供与がありましたので、来週中を目途に、地域医師会経由で会員の先生方へ、お配りする予定です。また、ロータリークラブからは、フェイスシールドの提供がありますので、届き次第、地域医師会経由で会員の先生方へお配りいたします。

なお、このほかにも日本医師会や企業様からの資材提供がございます。物品の種類と数量を勘案して必要と思われる施設等に順次お送りさせていただいておりますのでご承知おきください。

【重要な通知】

1 日本医師会：新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いに関するQ&Aについて(5/13)

今後のオンライン診療の方向性も含まれておりますので、実際にオンライン等での診療を行ってみえる先生だけでなく、多くの先生に内容を確認していただきたく存じます。内容はすでに地域医師会に通知してあります。

2 日本医師会：新型コロナウイルス抗原検出用キットの供給に関する調整等について(5/18)

5月中において同診断キットの供給数が限られているため、供給順位が定められている旨の通知です。6月以降は状況を踏まえて改めて通知されます。供給先は最近の新規感染者が多い都道府県の帰国者接触者外来や地域外来検査センター、中核的な機能を果たしている又は感染リスクが高い医療機関が優先されます。なお、この抗原検査は新型コロナウイルス感染症に係る行政検査となるので、検査を実施する医療機関は都道府県に対し「帰国者接触者外来と同様の機能を有する医療機関として都道府県が認めた医療機関」として行政検査の委託契約が必要となります。

3 日本医師会：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第2版(5/19)

診療の手引きが更新され、県医師会ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連情報：医師向け情報」で内容を確認できます。

4 岐阜県医師会：診療所におけるCOVID-19対策チェックリスト（Ver.3）(5/18)

本会のチェックリストを更新しました。日常診療でお役立て下さい。県医師会ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連情報：医師向け情報」で内容を確認できます。

岐阜県医師会ホームページ「新型コロナウイルス感染症関連情報」掲載中！

岐阜医師会では、新型コロナウイルス感染症に関して、情報発信に努めています。本会HPの「新型コロナウイルス感染症関連情報」又は日本医師会HPのメンバーズルームを随時チェックされることをお勧めします。